



外国人旅行者向け電子ウォレットサービス 「タグタイ・イージーペイ」

北陸銀行 国際部
バンコク駐在員事務所
所長 湧川 裕明

1. はじめに

タイ民間大手のカシコン銀行は3月17日、タイ政府観光庁などと共同開発した外国人旅行者向け電子ウォレット「タグタイ・イージーペイ」のサービス開始を発表しました。あらゆる場面でキャッシュレス化が進んでいるタイですが、タイ国内の銀行口座を持たない外国人観光客のキャッシュレス利用手段はクレジットカードやデビットカードに限定されるため、バンコク市内の両替ショップでは常にバーツ現金を求める外国人観光客が列をなしています。

タグタイ・イージーペイを利用すると、タイ国内の国家電子決済システム「プロンプトペイ」のQRコード決済も可能となり、外国人観光客の利便性の向上につながることを期待されます。今回はタイのキャッシュレス事情も交えながら、このサービスについて紹介していきたいと思います。

2. 「タグタイ・イージーペイ」の使用方法

「タグタイ」は、タイ政府と民間業者が共同で運営する外国人観光客のための旅行支援アプリで、旅の情報や割引クーポンの提供に加えて、緊急時のために旅行者警察につながる電話ボタンなどが装備されています。タグタイ・イージーペイはこのタグタイアプリ内で利用することができます。



カシコン銀行は2024年に外国人旅行者向けプリペイドカード「ペイ・アンド・ツアー」を開発しています。このカードは空港や商業施設などにあるカシコン銀行の両替ブースで申し込みとチャージを行い、米クレジットカード大手ビザに対応する店舗でのカード決済に利用できる仕組みです。タグタイ・イージーペイはペイ・アンド・ツアーのカード情報を、タグタイアプリ内の電子ウォレットに登録することで、カシコン銀行のATMで現金を引き出せる他、先述のプロンプトペイのQRコード決済も利用することができます。カシコン銀行をはじめ、タイの銀行の多くは、ATMで現金を引き出す際にカードを使わず、画面に表示されるQRコードを携帯で読み込むことで引き出しができる機能を備えており、外国人旅行者もATMで現金を引き出すことができるという訳です。

3. タイのキャッシュレス事情

タイのキャッシュレス比率は9割程度と言われており、4割程度の日本と比べてキャッシュレス化がかなり進んでいます。タイで生活している筆者の肌感覚からしても、納得の数字と言えます。国内のスターバックスコーヒーのうち約200店舗が、現金支払い不可の完全キャッシュレスとなっています。

最も利用されている決済手段はQRコード決済です。銀行アプリより直接支払うことが可能で、PayPayのような専用アプリにチャージする必要がありません。屋台での少額の買い物にも普通にQR決済が使われています。利用者、事業者ともに手数料負担がないことで、ここまで普及してきたのだと考えられます。アプリを利用した送金も他行宛でも手数料はゼロで、決済に関する手数料負担は非常に軽いものです。

4. おわりに

2024年の訪タイ外国人旅行者数は3,554万人でした。2025年は前年比5%以上の増加が予想されています。旅行者のキャッシュレス手段と言えば、クレジットカード、デビットカードがポピュラーですが、昨今は盗難や犯罪利用防止のため、海外での使用が制限される場面も見受けられます。タグタイのアプリは2023年6月のサービス開始以降、2024年末時点のダウンロード件数が200万件を超えたとのこと。タグタイ・イージーペイによって外国人旅行者もタイのキャッシュレス社会への対応がしやすくなるかもしれません。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株)人材情報センター内)

TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp